KOYAMA FUKUSEI HOSPITAL

かえでの森

第　４９ 号　　平成 ２８年 １２月　 １日

発　行　所／神山復生病院　〒412-0033御殿場市神山109　(TEL)0550-87-0004　(Fax)0550-87-5360
(E-mail)info@fukusei.jp　(ホームページ) http://www.fukusei.jp/

《 理　　念 》

神山復生病院は　キリストの愛に基づいて　病める人も健やかな人も　神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら　一人ひとりの命を大切にし　希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

1　**患者様本位の医療**
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します

2　**職員の人材育成**
優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を目指します

3　**経営の安定化**
病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します

神山復生病院の新たな年明けに向けて

看護部長　杉山美貴子

早いもので2016年も残すところあと1か月となり、神様の御子キリスト様の御誕生を祝福する12月を迎えました。復生病院は127年もの間、神様のお恵みをたくさん頂くことで様々な苦難を乗り越えてまいりました。食べることにひと苦労した時代もあったと伝え聞いております。しかし、神様の愛を信じることにより、一人ひとりを大切にした医療活動を長く続けてくることができたのです。ところが時代の変化の波が、2016年神山復生病院に迫ってまいりました。地域包括ケアシステムの構築が各市町で進められており、御殿場市も着実に歩みを進めておられます。そこで、復生病院もその時代の波に自ら乗っていくために、2017年4月、新たな事業を始めることとなりました。先ずその一つとして、病院敷地の最南端市道沿いに、小規模多機能型居宅介護事業所「マリアの家」を新築し開設します。マリアの家は地域住民の皆様に「通い」「泊り」「訪問介護」のサービスをトータルで提供することにより、住み慣れた地域で長く生活していただくお手伝いをいたします。更に二つめとして、病院敷地内建物を利用し、訪問看護ステーション「マリア」も同時に開設します。介護サービスだけでは支えきれない在宅生活を、医療の側面からお手伝いしていきたいと願っています。

二つの事業を開始することで神山復生病院はこれまで以上に、地域の皆様に寄り添った医療・福祉活動を続けていくことが出来ると信じております。職員一同苦難を恐れず、神様のお恵みを頂きながら静かに新しい年を迎えたいと思っております。新たなスタートを切る神山復生病院を、今後ともよろしくお願いいたします。

遺族ケアを行って

ホスピス病棟　師長　松永千歳世

昨年 9 月から 1 年の間に亡くなられた皆様を追悼するミサが、11 月 5 日（土）に病院聖堂にて 50 名のご遺族に参加いただき、カトリック御殿場教会の金子神父様の司式により行われました。ミサに参加されたのは初めての方も多かったようですが、粛々と進められました。その後、ホスピスラウンジに場所を移し茶話会が開かれました。今回は、皆様に風船の形をしたメッセージカードが配られ、亡くなられたご家族に思い出や、今の心境、伝えたいことなどを書き込んでいただき、青空に見立てた大きな台紙に貼り付けられました。ご遺族の方々がより心のうちを吐露し慰めを得て、明日からの生きる糧になるように、皆の力を結集して手作り感のある素晴らしい会になりました。

秋晴れの美しい木漏れ日にたくさんの人の笑顔や涙が輝いていました。今年は趣向をこらした遺族ケアにスタッフ全員で取り組むことができました。

ミサの様子

茶話会の様子

ご遺族に書いて頂いたメッセージカード

出前授業 in 水土野地区

薬剤師　永井　祐佳

10 月 15 日（土）水土野公民館にて行われた出前授業に、今回初めて薬剤師も参加しました。

水土野地区には、明治 10 年代御殿場に数ヵ所あった伝道所のひとつがあり、復生病院の初代院長のテストウィド神父も御殿場に来ると必ず立ち寄った地で、復生病院の立ち上げに貢献して下さった方も住んでいた、ゆかりの地でもあります。

当日は、薬の飲み方・飲み合わせ・ジェネリック医薬品・お薬手帳などについてお話をしました。終わった後に皆さんから多くの質問をいただき、薬に対する関心度の高さを肌で感じることができました。始まる前は私自身、大勢の方々の前で話をすることが未経験だったので、とても緊張しました。でも、終わってみるととても楽しく有意義な経験をさせてもらえたと思います。

これからは、お薬を渡す時だけの薬剤師でなく、より身近な存在の薬剤師になりたいです。今後もお誘いがあれば、看護部と協力し出前授業に参加したと思います。

水土野の伝道所（明治時代）

熱心に聞いてくださっていました

ご質問も多く頂きました

委員会紹介④　リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント委員会
看護部長　杉山美貴子

リスクマネジメント委員会は医療安全管理委員会の下部組織として、毎月一回委員会を開催しております。メンバーは各部署の管理者及びスタッフで構成されており、委員は部署の医療安全推進者として活動しております。主な業務として、毎月各部署から上がってくるインシデントレポートを見直し、アクシデントに至らない対策が立てられているか、メンバー全員で検討します。また、当院のインシデントの特徴を知るためにレポートの分析も行い、対策立案が困難な事例に関しては、ＲＣＡに則り詳細に検討することにも取り組んでいます。更に、今年度の医療安全推進週間では、医療安全に関する標語の募集を行い、優秀作品は毎月発行のインシデントレポート報告書に掲載を予定しています。神山復生病院の医療の質を担保し更にその質を向上させるため、リスクマネジメント委員会のメンバーは新しい取り組みに積極的に挑んでいます。今後も神山復生病院を利用して下さる皆様に安全な医療を提供していけるよう、メンバー全員で力を合わせ活動していきたいと思います。

院内の像⑦　～奉拝碑(ほうはいひ)～

シスター徳永美智子

建立した奉拝碑
（場所　道上）

昭和８年
貞明皇后様お見送りの際の写真

皆さまは奉拝碑をご存知ですか。奉拝とは「敬い礼拝する」という意味があります。復生病院になぜ奉拝碑があるのでしょうか。古い古い話になりますが、貞明皇后様が沼津の御用邸よりご帰京の際、現在の駒門自衛隊寄りの河原の手前（大坂の踏切り東海道 119.8 キロの地点）でお召列車をお見送りした記念のに、当時の復生病院所有地であった神山字道上に建てられたものです。現在、道上の土地は富士見原住宅が建っており、昔の面影を見つけることはできません。御殿場線に沿った河原で 30 余名の人々がお召列車を待っている写真が残っているだけです。この記念の奉拝碑の立っていた土地は平成 6 年に御殿場市に売却し、富士見原住宅が出来ました。今は、移転され、めぐみの森の柿の木の傍に奉拝碑があります。第 6 代目の院長岩下壮一氏は記念碑を建て記念の事業を計画しましたが、最後まで完成することはできませんでした。しかし、その思いは引継がれ昭和 32 年 6 月に奉送の地に「奉拝碑」が建立されました。当時の方たちにとって、皇室は遠い存在だったのでしょう。お召列車の中から貞明皇后様が河原で立って待っていた人たちに頭を下げられたとも記念誌には書かれています。どれほどの感激だったのでしょうね。長い歴史の中で「めぐみの森」の横にひっそりと建っている奉拝碑を眺めると、当時の人々がどんなに喜びの涙を流されたかを想像することが出来ます。庭を散歩される時に、ぜひ立ち止まって、当時の人々の心を感じて頂けたらと思います。復生病院 127 年の歴史の中で、病気のために親や兄弟から見捨てられた人々がおられた事を想っていただけたら・・・。次回は、病院院歌をご紹介いたしましょう。

今回のおすすめ　『山奥にあるうどん屋さん』

私のおすすめは、小田原に通じる足柄古道の途中にある『万葉うどん』という、うどん屋さんです。南足柄市地蔵堂という、とても山深い所にある、古民家を改装した趣のあるうどん屋さんで、休日は行楽客で賑わっています。おすすめは、おつゆにレモンが入ったさっぱりとした口当たりの『湯うどん』と、ちょっぴりスパイシーな、キーマカレーがのったカレーうどんです。寒いこの時期にピッタ
食べると心も体もポカポカしてきます。ぜひ一度味わってみて下さい。

（紹介者　療養病棟　加藤健児）

湯うどん(左)カレーうどん(右)

外　来　担　当　表

心療内科、緩和ケア外来は予約制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午　前	内科（平田） 心療内科（飛澤）	内科（林）	内科（平田）	内科（林） 内科(井上)	内科（江藤） 心療内科（飛澤）	内科（井上） 心療内科（飛澤） 皮膚科	休　診
午　後	休　診	休　診	休　診	緩和ケア外来 （平田）	休　診	休　診	

インフルエンザの予防接種を行っています。ご希望の方は受付まで

皮膚科外来予定表

第３、５土曜日も皮膚科診療を行っています

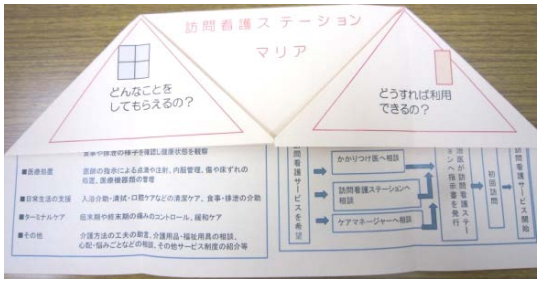
太田　有史　医師	診察日	１２／１７	・	１／７
新村　眞人　医師	診察日	１２／１０	・	１／１４
井ノ口早苗　医師	診察日	１２／３	・	１／２１
石地　尚興　医師	診察日	１２／２４	・	１／２８

都合等により、休診や代診の場合があります。お電話でお問い合わせのうえご来院下さい。

お 知 ら せ

～訪問看護ステーションマリアを開設します～

平成 29 年 4 月に開設予定の訪問看護ステーションマリアのパンフレットです。住み慣れた我が家で暮らしたいという思いを支えられるよう、心をこめてサービスを提供したいと考え準備を進めています。



関口守衛先生がご逝去されました。

長年、当院で循環器医師として勤務していただきました、関口先生が平成 28 年 10 月 10 日享年 76 歳でお亡くなりになられました。10 月 16 日に通夜が、翌 17 日（月）に東京のｶﾄﾘｯｸ司教座聖堂カテドラルで葬儀ミサと告別式がたくさんの方々の参列の元にしめやかに行われました。当院からも病院長をはじめ職員 3 名が葬儀ミサに参列をし、先生への長年のお勤めに感謝を申し上げ、永遠の安息をお祈り申し上げました。先生のためにお祈りをお願いいたします。

編集後記

記念館祝別ミサでの梅村司教様のお話の中で、「こちらのシスターはどんな時も大丈夫、大丈夫と微笑んでおられるのは、神への信頼が厚いあかしです。」という言葉が胸に響きました。これから新しい事業にチャレンジする私たちも神様への信頼のもと大丈夫、大丈夫の言葉を胸に一つ一つ全力で取り組みたいと思います。　次号もお楽しみに！！

さ